

1 アドセンス入れ（2箇所）

最初の見出し2前と真ん中ら辺の見出し2前

2 コピペチェック

※あからさまなコピペはないと思うが確認

※コピペ率高いのはダメ。即解雇。

<https://liskul.com/copy-check-tool-18405>

上記の中でもおススメは1位と2位
（4000字超える場合は分けてチェック）

<https://ccd.supersonico.info/>

<https://copyrun.net/>

日本語変換ミス確認サイト

<https://enno.jp/>

3 キーワードがタイトルにあるか確認

最初の2語を左に持ってきているか

自然な感じで28～32字位に収まっているか

4 ライバル確認

上位3サイトに勝っているか

対等に戦えているか

明らかに負けていればだめ

絶対にトップページに入れるレベルか確認

5 関連記事入れ（3～5箇所理想）と末尾

あくまで自然に誘導文で誘導

難しければ〈関連記事〉と書くが、多用しない。

基本は文章で誘導。

末尾にも忘れず挿入。これは関連記事のまとめを入れる

6 見出し

キーワードは入っているか

数字順になっているか

並列の内容なら同じ見出しになっているか

詳しい内容説明する時に大きい数字の見出しにしているか

7 構成

主張理由証拠主張になっているか

全部読んで違和感ないか

記事に一貫性があるか大事。

管理者が書いてても違和感なければそのまま、体験談等あれば「今回の記事はNさんです」等、導入分に入れる。

8 改行

見出し2の上には空白一行

見出し3456は改行なし

普通の文は、2.3文章で改行

9 文字色

オレンジのみ

多用しすぎてないか

10 箇条書き

適正箇所で使用しているか

11 引用

引用タグで必ずくくってあげる

URLは引用の外に書く

※引用について※

引用する際の判断基準はたった一つです。

その引用サイトはライバルかどうか？

わざわざライバルサイトを紹介したら読者はそっち見に行きますよね？

だってあなたが紹介してくれるくらい良い記事なんですから。

その記事より役立つ記事を作るのが目的です。負けないでください

ですので、ライバルになり得ない公的なサイトや知恵袋はOK
戦うフィールドが違いますから。

自分が作るキーワードと同じライバルサイトの引用はだめよーってことです！

これからキーワード検索1ページ目表示の10個の椅子を奪い合うのですから！

12 誤字脱字

方言、!、?、...、がないかも同時に確認

(笑) はあってもいいが多用なし

13 写真,動画

ちゃんと入っているか

14 プレビューで最終確認

そして記事のタイトルに完了と名前入れて下書き保存

15 最後に最終チェックも一通り、必ず見る

ライティングマニュアル10チェックリスト
(印刷して手元に常に置いて欲しいレベル)

<http://hirokin001.com/wp-content/uploads/2017/11/10-check-list-of-writing.pdf>

16 パーマリンクも英語にしているか確認

シンプルにする

hiro-aho 等etc,,

17 完了か修正依頼

記事のタイトル前に、完了か修正依頼と記載する